

社会・心理・教育



キーワード：コミュニケーション・スキル，説得，ユーモア

コミュニケーション・スキルとその訓練

経営学部 経営学科 准教授

牧野 幸志 MAKINO Koushi

研究の内容

現在は，青年期のコミュニケーション・スキル訓練の開発とその実施の研究を行っている。コミュニケーション・スキルとは，良好な人間関係を築き，維持するために必要なスキルであり，社会人となっても必要である最低限のスキルである。しかしながら，現代社会においては，他者とのコミュニケーションを苦手とする若者も多い，そこで，スキル訓練プログラムを実施し，向上を補助している。特に，ユーモアを用いたスキルについて研究を行ってきた。

コミュニケーション・スキルを習得，あるいは向上させることで，将来起こりうる対人葛藤問題などを予防するところに新規性がある。また，これまでのスキル訓練は一部の人を対象に実験室内で行われてきたが，私の研究では現場において，学校現場で集団で行われているところに特徴がある。この他に，説得的コミュニケーションや対人葛藤解決スキルなどの研究を行っている。

産学連携・社会連携へのアピールポイント

コミュニケーション・スキルは，子どもたちだけではなく社会人にとっても重要なスキルである。学校などでは友人関係を作るためにコミュニケーション・スキルが必要であるが，社会人になっても社内、社外でコミュニケーションが必要となる。それらのスキルを向上させるための訓練を行っている。

研究者総覧（牧野 幸志）

URL:https://gyoseki.setsunan.ac.jp/html/100001000_ja.html

